

陳 情 文 書 表

<p>受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名</p>	<p>陳情第167号（4. 11. 17） 行き届いた教育を目指し、35人以下学級の前進、教育費の軽減、教育条件の改善を求める陳情</p>
<p>陳 情 の 要 旨</p>	<p>1. 小学5年生・6年生の35人学級先行実施、中学校・高校の35人学級を早期に実現すること。当面中学1年生の35人学級を直ちに実現すること。また、教室の「密」を避けるためにも20人程度の授業ができる展望を示すこと。</p> <p>2. 市立幼稚園の3歳児は20人学級、4・5歳児は30人学級とし、希望者全員の就園を実現させること。</p> <p>3. 市立幼稚園の3年保育実施園を早急に広げること。</p> <p>4. 教育予算を増額し、学校園教育に係る保護者負担を軽減すること。</p> <p>5. 過大・過密を解消できるよう特別支援学校を更に増設すること。また、施設・設備を拡充すること。必要に応じてマンツーマン指導体制を認めるなど、児童・生徒の実情に見合った教員配置を実現させること。</p>
<p>陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市中央区 ゆきとどいた教育をすすめる神戸の会 島 津 茂 久 ほか1名その他署名者あり（申告数2332名）</p>
<p>送 付 委 員 会</p>	<p>教育こども委員会</p>

2022年11月17日

神戸市会議長あて

陳情者

住所 神戸市中央区

ゆきとどいた教育をすすめる神戸の会

(代表者) 氏名 島津 茂久 (電話

住所 神戸市中央区

全教神戸市教職員組合

氏名 飯塚 直人 (電話

ゆきとどいた教育をめざし、35人以下学級の前進、教育費の軽減、教育条件の改善を求める陳情

陳情趣旨

子どもたちは、明日の神戸を担う地域の宝です。少子化の進行や神戸市からの人口流出が危惧されている今、豊かな学校教育や子育てしやすい街づくりのための方策は喫緊の課題です。このような観点から、神戸市立幼稚園・小学校・中学校・支援学校について次の事項を求めます。

少人数学級は、子どもたちの健やかな成長発達のために必要不可欠な教育条件です。神戸市における少人数学級(35人学級)は小学校4年生までですが、全国的には、小学校高学年や中学校にも大きく広がっています。中学校1年生の少人数学級は、全国の政令市で実施されていないのは、神戸市を含む3団体のみとなっています。(大阪市、堺市、神戸市) また現在、神戸市立幼稚園では、4・5歳児は35人学級です。ぜひ30人学級への前進を求めます。同じく3歳児は25人学級ですが、20人学級への前進を求め、全園での3年保育の実施も求めます。

子どもの家庭における経済格差が教育格差にならないような保護者負担の軽減も行政の大きな課題です。

私たちは、「教育日本一」をめざす神戸市だからこそ、教育条件の改善をいっ

そう進められるよう以下の項目について陳情します。

陳情事項

1. 小学5年生・6年生の35人学級先行実施、中学校・高校の35人学級を早期に実現してください。当面中学1年生の35人学級をただちに実現してください。また、教室の「密」を避けるためにも20人程度の授業ができる展望を示してください。
2. 市立幼稚園の3歳児は20人学級、4・5歳児は30人学級とし、希望者全員の就園を実現させてください。(現行3歳児は25人、4・5歳児は35人)
3. 市立幼稚園の3年保育実施園を早急に広げてください。
4. 教育予算を増額し、学校園教育にかかる保護者負担を軽減してください。
5. 過大・過密を解消できるよう特別支援学校をさらに増設してください。また、施設・設備を拡充してください。必要に応じてマンツーマン指導体制を認めるなど、児童・生徒の実情に見合った教員配置を実現させてください。